

科目名 単位・時間	小児看護学 (6単位 195時間)		対象者	23・24・25期生
担当講師名	第一看護学科 専任教員(臨床経験有) 非常勤講師 キッコーマン総合病院 小児科医師 非常勤講師 東京慈恵会医科大学附属柏病院 看護師 非常勤講師 千葉県こども病院 看護師		年次・時期	1年次～3年次
概要	<p>人はひとりの人間として成長・発達をし続ける独自の存在です。看護の対象である人間理解のためには人間のライフサイクルをとらえながら学ぶことが大切です。このことをふまえて、小児看護学は専門分野Ⅱの中のひとつの分野として位置づけられています。この科目の担当は、病院での臨床経験を持つ専任教員と非常勤講師が行います。</p> <p>小児は成長発達の各期で特徴が大きく異なるため、3年間を通じて段階的に学習をすすめます。小児看護学概論では、小児各期の成長発達の特徴と小児看護の理念・役割を学びます。担当は当校の専任教員が行います。小児の健康障害と看護では、小児に起こりやすい疾患と症状、健康回復に向けた小児看護の基礎知識を学びます。小児看護技術では、模擬患者を想定し、健康回復のための看護技術が実践的に身につけられるように学習します。</p> <p>講義は小児科医師、5年以上の臨床経験を有する当校の専任教員と実習病院の看護師が行います。専任教員は看護実践力・教育実践力の維持向上のため、さまざまな研修に参加しています。</p>			
科目構成	科目名	小児看護学概論	小児の健康障害と看護	小児看護技術
	単位時間	1単位 30時間	2単位 45時間	1単位 30時間
	学習範囲	1. 小児と母親への支援 2. 小児の特徴と小児看護の役割 3. 小児をとりまく環境	1. 健康障害のある小児と家族の看護 2. 小児各期に特有な疾患と治療 3. 主な症状と疾患のある小児の看護 4. 長期にわたる障害をもつ小児の看護	1. 健康障害を持つ小児と家族に必要な支援
	科目名	小児看護学実習Ⅰ		
	単位時間	1単位 45時間		
	概要	<p>小児看護学実習Ⅰ－1は保育所に通う健康な乳幼児の生活を理解し、個々の成長・発達に合わせた関わりを学ぶ実習です。保育士の保育場面を見学し、発達段階に合わせた支援を学びます。</p> <p>小児看護学実習Ⅰ－2は障害を持つ子どもを理解し、看護師の役割を考える実習です。対象者への生活援助やコミュニケーションを臨地実習指導者の活動を見学して学びます。</p>		
	科目名	小児看護学実習Ⅱ		
単位時間	1単位 45時間			
概要	<p>小児看護学実習Ⅱは入院中の小児とその家族に対して健康回復に必要な看護を学びます。小児は、年齢が低いほど入院や治療の理解ができず、慣れない環境に恐怖や苦痛を感じます。また、家族も大きな悲しみと不安を持ちます。患者・家族の思いを知り、健康回復のための支援を看護師とともに学びます。当校の専任教員が指導にあたり、臨地実習指導者およびスタッフが専任教員と連携を図りながら指導にあたります。</p>			